

## **30代ビジネスマン・体の変化 と“衰え”の実態と対処法**

### **仕事に真剣勝負**

**結果として、体の不調や衰えを実感する人が8割も**

**— 悲鳴を上げる30代ビジネスマンの肉体 —**

大正製薬株式会社（代表取締役会長兼社長：上原明）はこのたび、「30代男性ビジネスマンを襲う精神的、肉体的な“衰え”と“体の不調”」についての調査を実施しました。

経済や社会の最前線に立つ30代の男性ビジネスマンは、精神的にも肉体的にも過酷な環境におかれ、同時に、肩こりや腰痛など、加齢によるからだの不調も増加する年代です。さらに、未曾有の経済危機といわれる昨今、その環境はさらに厳しいものになっていると考えられます。

当社は4月28日、スイッチOTC成分ジクロフェナクナトリウム製剤の外用鎮痛・消炎剤「ジクロテクト (Diclotect)」を発売します。そこで、ジクロテクトのメインターゲットである30代ビジネスマンの体の衰えや変化について、実態とその対策について調査しました。

#### **■8割以上が不況感・リストラ不安を感じながら**

**仕事は前向きに取り組み、結果を求める30代。**

厳しい環境下で仕事に不安を感じながらも、正面から仕事に向き合う姿が浮き彫りに。

#### **■きつくなる責任や仕事。一方で肉体の衰えも。**

**結果として、約8割が体の不調や衰えを実感。**

責任の重い激務と人間関係での気遣いが影響。30代になって「スポーツをしてからだが思い通りに動かない」や「徹夜ができなくなった」などからだの衰えを感じる人が増えたという人が約9割(87%)も。

#### **■悲鳴を上げる30代ビジネスマンの肉体。3人に2人は、肩こり・腰痛が増加。**

多くの30代ビジネスマンが日常的に肩こり・腰痛など、からだの不調を訴えている。

#### **■「自分で治す」か、「治してもらおう」か。かける費用は月額平均3,600円。**

からだの不調対策で一番多いのが「貼り薬・塗り薬」(34%)。次に「マッサージ・整体」(24%)、「栄養ドリンク」(21%)。

#### **■約4分の3の人が、より強い外用鎮痛・消炎剤を求めています。**

多忙なビジネスマンは、自分で購入できて、自由に貼れるより効果的な外用鎮痛・消炎剤を求めている。

## 調査概要

### ■調査目的

30代は年齢的にも肩こりや腰痛が目立ち始める時期。30代ビジネスマンは、未曾有の不景気と言われる現在、会社でも中核社員としてビジネスの最前線に立ち、また、家庭の主としても経済的責任を担わされるなど、精神的にも肉体的にもダメージを受けていると考えられます。そこで、30代ビジネスマンの体の衰えや変化について、実態とその対処法について調査しました。

### ■調査対象

全国の30～39才男性ビジネスマン 357名

### ■調査方法

インターネットによるWeb調査

※クロス・マーケティング社のWeb調査モニターを使用

### ■調査実施日

2009年4月

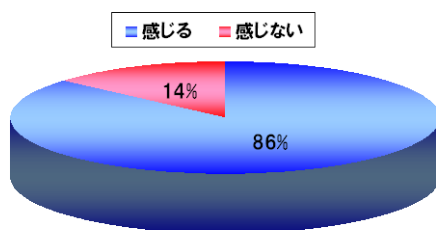
## 【景気への不安と仕事に対する姿勢】

### ■8割以上が不況感、リストラ不安を感じながら、仕事は前向きに取り組む、結果を求める30代。

30代ビジネスマンのほとんどは、最近、仕事において不況であることを感じており(86%)、会社の業績やリストラなどの不安も約8割(83%)が感じています。その中で、仕事に対する意識は、半数以上が「仕事に前向きに取り組んでいる」(56%)と答え、「仕事で結果をきちんと出して行きたい」という人も約半数(49%)いました。厳しい環境下で仕事に不安を感じながらも、正面から仕事に向き合う姿が浮き彫りとなっています。

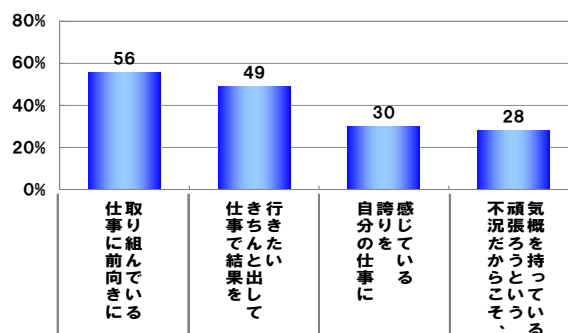
## 大不況で仕事への不安も・・・

Q.最近仕事において  
不況であることを感じますか？



## そんな中でも仕事には真剣勝負

Q.あなたの仕事に対する意識として、あてはまるものは？

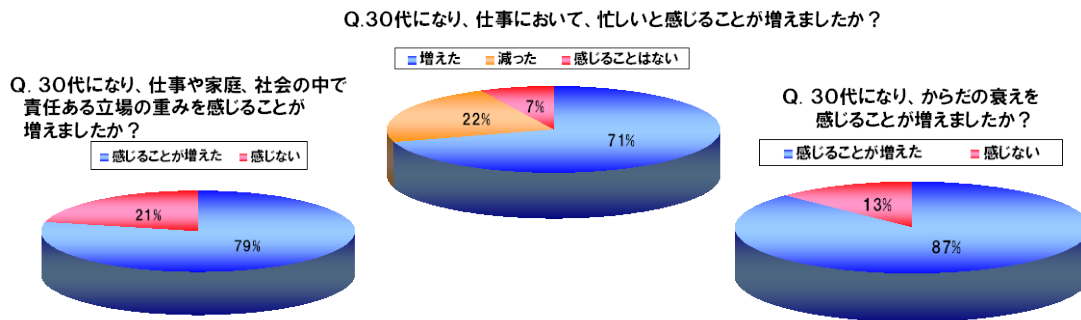


## 【衰えや体の不調を感じる割合】

■きつくなる責任や仕事。一方で肉体の衰えも。結果として、約8割が疲れや衰えを実感。

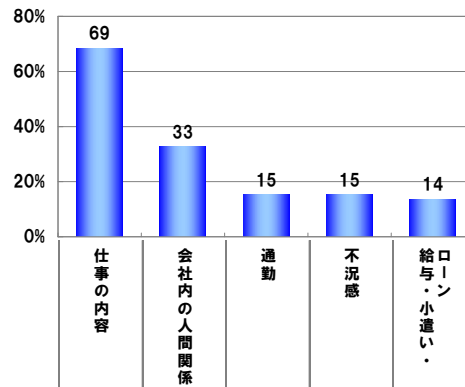
30代となって、仕事や家庭、社会の中で責任ある立場の重みを感じる人が全体の約8割(79%)。約7割(71%)の人が30代になって仕事が忙しいと感じることが増えたと答えています。また、30代になってからだの衰えを感じる人が約9割(87%)もいました。からだの不調を感じる原因としては仕事の内容が約7割(69%)で、次に会社の人間関係を約3割(33%)の人が挙げています。激務と気遣いがからだにも影響を及ぼしていることがうかがえます。

### 重圧・多忙・衰えのトリプルパンチが襲う



### 激務と気遣いでからだはボロボロ

Q. からだの不調を感じる具体的な原因と考えられるものはどれですか？



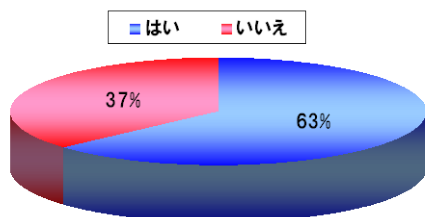
## 【肩こり・腰痛の頻度】

■悲鳴を上げる30代ビジネスマンの肉体。3人に2人が肩こり・腰痛が増加。

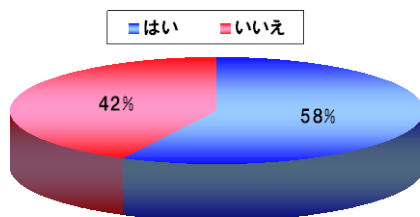
30代になりからだの衰えを感じると答えた人が全体の約9割(87%)いますが、からだの不調として、3人に2人(63%)が30代になり、肩こりを感じやすくなったと答え、30代になり、腰痛を感じやすくなったと答えた人も6割近く(58%)いました。その頻度は、肩こり・腰痛を感じると答えた人のうち、それぞれ週1回以上感じると答えた人が、肩こりで76%、腰痛で56%もあり、多くの人が日常的に肩こり・腰痛など、からだの不調を訴えていることがわかりました。

## 増加する肩こり・腰痛。多くの人が慢性化。

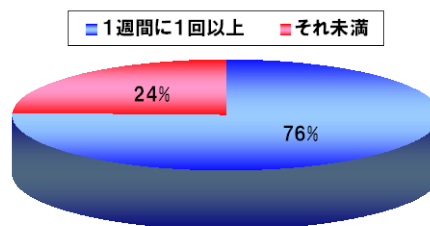
Q. 30代になり、肩こりを感じやすくなりましたか？



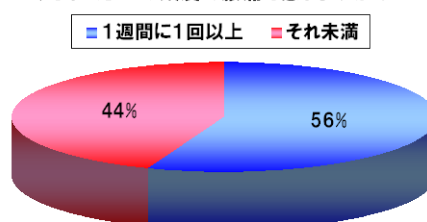
Q. 30代になり、腰痛を感じやすくなりましたか？



Q. どれくらいの頻度で肩こりを感じますか？



Q. どれくらいの頻度で腰痛を感じますか？



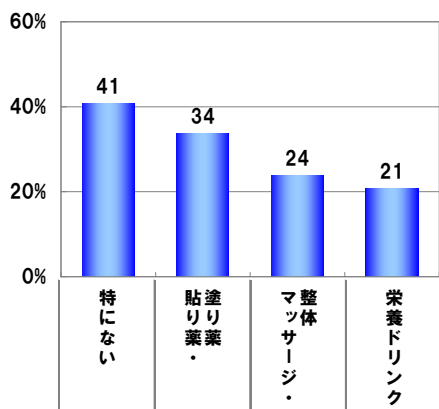
### 【からだの不調の対処法】

■「自分で治す」か、「治してもらう」か。かける費用は月額平均3,600円。

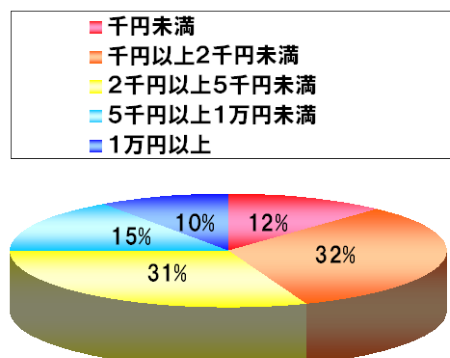
肩こり・腰痛などの不調を改善する方法では、約4割(41%)の人は「特にない」と答えています。なんらかの対策を持っている人で一番多いのが「貼り薬・塗り薬」(34%)、次に「マッサージ・整体」(24%)、「栄養ドリンク」(21%)となっています。これらの対処法に使うコストは、「2千円以上5千円未満」の人が約3割(31%)もあり、平均すると月3,600円を、不調改善のために使っています。

### 対処法のトップは「貼り薬・塗り薬」

Q. 肩こり・腰痛などを回復するために、あなたが利用しているものは？



Q. それらの対処法に対して、月にいくらくらい使っていますか？



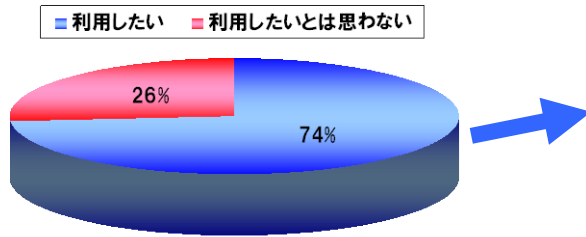
【スイッチ OTC の外用消炎鎮痛剤について】

■約 4 分の 3 の人が、より強い外用鎮痛・消炎剤を求めています。

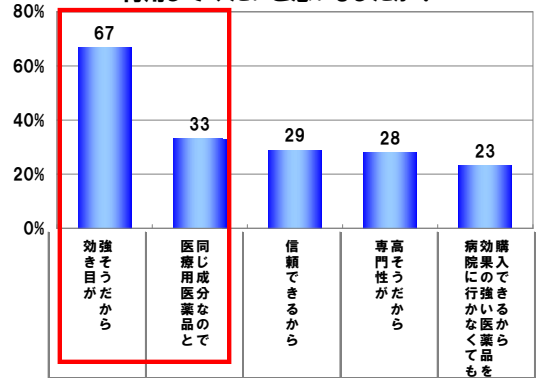
スイッチ OTC になった塗り薬や貼り薬(外用消炎鎮痛剤)を、あなたは利用してみたいかという質問に対し、約 4 分の 3 の人が「利用したい」(74%)と回答。その理由は、トップが「効き目が強そうだから」(67%)、次に「医療用と同じ成分なので」(33%)を挙げていました。また、前項の質問で肩こり・腰痛に対する対処法が「特にない」と答えた人(全体の 41%)でも、約 3 分の 2 が「利用したい」(64%)と回答しました。多忙なビジネスマンは、より効果的な外用鎮痛・消炎剤を求めていることがわかりました。

多くの人が「効き目が強そうだから」利用してみたいと回答

Q. スイッチOTCになった塗り薬や貼り薬(外用消炎鎮痛剤)を、あなたは利用してみたいと思いますか？



Q. どのような理由から、利用してみたいと思いましたか？



これまで対処法がなかった人も、これなら利用したい!

Q. 肩こり・腰痛などを回復するために、あなたが利用しているものは？

